

「土地開発事業特別会計予算案」については、広野工業団地及び広洋台住宅団地等の環境緑化保全対策などに努めて参ります。

「老人保健特別会計予算案」については、後期高齢者医療制度へ移行するまでの医療費の支払いに係る予算計上であり大きく減額した内容となっております。

「公共下水道事業特別会計予算案」については、施設の適正な維持管理とともに、より一層の生活環境の改善を図るため、下水道普及率の向上に努めて参ります。

「農業集落排水事業特別会計予算案」については、施設の維持管理を主体とした予算編成を行いました。

「介護保険特別会計予算案」については、制度の主旨を踏まえ、介護保険の円滑な事業の運営を図るための予算編成をいたしております。

「後期高齢者医療特別会計予算案」については、長寿社会に即した老人医療制度の確立に向けて、今年度より導入された特別会計であり、所要額を計上いたしております。

平成20年度的一般会計及び7特別会計を合わせた予算総額は46億9千8万5千円で、一般会計の減少や老人医療制度の改正で対前年度

比15・6パーセントの減となる予算規模であります。

以上、平成20年度広野町の主要な施政の基本、施政の概要及び財政運営についてご説明申し上げます。

## 12月第4回議会定例会以降における町政の主なる経過報告

### 総務課関係事業

1月8日、平成20年広野町自治功労表彰式を挙行いたし、特別功労章並びに功労章の方々に表彰致しますとともに、長年、それぞれの分野で御活躍された方々10名に対し永年勤続表彰を行いました。

更に同日挙行しました新春交歓会には、町内から160名の方々の参加を得て、盛会裡に終了致しました。

また、「サッカーによる国際人育成支援事業」については、サッカー場進入路及び駐車場整備工事は、計画通り完成しております。なお、サッカー雨天練習場新築工事及びピッチ整備工事につきましても、工期内完成に向けて計画通り順調に進んでおります。

また、年中無休で営業しております、二ツ沼総合公園リフレッシュ施設につきましては、燃料費の高騰により運営経費が大幅に増加したことから、やむなく2月5日より土曜日から月曜

日までの週3日間の営業といたしております。

### 町民課関係事業

1月6日、広野幼稚園児、広野火力発電所自衛消防隊の参加を得て防火パレードに引き続き、恒例の広野町消防団並びに婦人消防隊出初め式を総合グラウンドにおいて実施いたしました。

### 教育委員会関係事業

12月15日 町民保健グループとの共催による広野町健康マラソン大会を198名の参加を得て開催いたしました。

1月4日、平成20年広野町成人式を開催致し、該当者88名中73名の参加がありました。

1月13日には新春初打ちパークゴルフ大会、2月24日には福島民友新聞社杯パークゴルフ大会が開催されました。その他、冬季親子星空観察教室、親子スキー教室等を開催いたしました。

最後に、私は町長就任時より、町づくりの基盤は人づくりである。また、役場の使命は「町民にとつての役場、町民のための役場」であり、「町民と共に歩む町政」と申して参りました。この使命のもと将来に希望の持てる明るい広野町づくりのために着実に遂行して行く所存でございますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

理解を深め、その体験を学校生活に役立てるため、子ども議会を昨年度に引き続き実施いたします。

また、中体連競技やスポーツ少年団等の各種大会において、優秀な成績を収めていることは、大変心強く感じており、文武両道の人づくりを目指し、指導者の育成や、組織の充実強化など各種スポーツの振興を図ってまいります。

次に、幼稚園預かり保育の対象園児を現在の5歳児のみから4歳児まで拡大するとともに、幼稚園に入園する第3子以降の園児については、入園料、保育料及び預かり保育料の全額を免除し、併せて給食費の全額を補助する子育て支援を実施して参ります。

また、救急救命に対応するため、幼稚園・小中学校・公民館にAED（自動体外式除細動器）を1台ずつ設置いたします。更に、学習の場としての広野町図書室を目指し、新刊図書や話題の本などを購入し町民の利用しやすい図書室づくりとサービス拡充に努めて参ります。

## 第6は「人材育成プログラム支援事業」であります。

本事業については、これまで男子寄宿舎第1期工事、サッカー場一面、クラブハウスが完成し、今年3月には雨天練習場が完成予定であります。整備計画の最終年度となる今年度においては、男子寄宿舎第2期工事として、高校生用居室部分となるサッカー支援センターの増築を

計画しております。

更に、4月には全国各地から選抜された第3期生15名が広野中学校に入学することから、1期生、2期生を含め46名の生徒たちが安心して生活が送れるようサポート体制を充実するとともに、関係機関と連携を深めながら支援体制の強化を図って参ります。

## 第7は「行財政改革」であります。

地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針により策定された「集中改革プラン」に基づいて事務事業の再編・整理、廃止・統合、経費節減等の財政効果、職員全般にわたる定員管理、給与の適正化等の見直しを積極的に推進し、分権型社会に対応した行政運営の実現に取り組んで参ります。

## 「平成20年度広野町一般会計予算案」の概要について

平成20年度の予算編成に当たりましては、本町を取り巻く財政状況が依然として厳しいことを認識し、限られた財源を最大限有効に活用するとの観点から、経費の一層の節減合理化と引き続き行政各般に亘る見直しを行うこととし、また、各種施策の優先順位につきましては、費用対効果を勘案した厳しい選択を行うとともに、社会経済情勢の変化を踏まえ、福祉・教育

を中心に安全・安心の確保にも配慮し「自然とともに新しい文化をつくるまち ひろの」の実現に向け編成したところであります。

一般会計は、総額34億69万9千円の予算規模で、対前年度比10・2パーセントの減となるものであります。

まず歳入面では、当町の主要財源であります東京電力広野火力発電所に係る固定資産税の通減に加えて法人町民税も減少し、町税収入が前年度より大きく減収となることから可能な限り歳入の確保を図るとともに、後年度負担にも配慮しつつ町債の借入れや財政調整基金からの繰り入れを見込むなど財源確保をいたしております。

一方、歳出面では、引き続き徹底した経費の見直しと節減、特別職人件費の削減を図ると共に、子育て支援事業をはじめ、サッカー国際人育成プログラム支援事業、町道整備事業、農林振興事業、各種福祉事業などに限られた財源の重点的、優先的な配分に努めました。

## 「各特別会計の予算案」について

「国民健康保険特別会計予算案」は、国保財政の健全化、効率的な運営に努めるとともに、医療費の適正化及び町民の健康維持対策などに努めて参ります。